

# 結婚や出生行動に影響を及ぼしていると示唆される要素の整理

(各種調査・研究結果から示唆される要素を可能な限り整理したもの)

## 《結婚》 ← 経済的基盤、雇用・キャリアの将来の見通し・安定性

- 経済的基盤: 収入が低く雇用が不安定な男性 → 未婚率 高
- 出産後の継続就業の見通し: 非正規雇用の女性  
育休が利用できない職場の女性  
保育所待機児童が多い地域の女性 } → 未婚率 高

## 《出産(第1子～)》 ← 子育てしながら就業継続できる見通し、仕事と家庭の調和

- 出産後の継続就業の見通し: 育休利用可能 → 出産確率 高
- 仕事と家庭生活との調和: 長時間労働 → 出産確率 低
- 〔※ 働き方+家事・育児の分担+保育所利用 → 相互に組み合わせられることで  
継続就業効果 高〕

## 《出産(特に第2子～)》 ← 夫婦間の家事・育児の分担

- 男性の家事・育児分担: 男性の分担度が高い → 女性の出産意欲 高  
女性の継続就業割合 高
- 〔※ 夫の労働時間が長い → 家事・育児分担 少〕

## 《出産(特に第2子～)》 ← 育児不安

- 育児不安: 育児不安の程度が高い → 出産意欲 減
- 〔※ 家庭内・地域からのサポート:  
配偶者の育児分担への満足度が高い } → 育児不安 低  
保育所・幼稚園からのサポートが高い〕

## 《出産(特に第3子～)》 ← 教育費の負担感

- 教育費の負担感: → 3人目以降から割合が高い
- 〔※ 1970年代生まれ以降 → 1人目・2人目でも負担感が高い〕